

◆企画名	<u>Welcome to Peer 2024</u>
日程	<u>2024年6月1日(土) 10:00～14:00</u>
場所	<u>千里山キャンパス凜風館4階ミーティングルーム</u>
参加者数	<u>33名(ピア・サポーター8名、研修生22名、シニア・サポーター2名、TA1名)</u>

目的

新しくピア・コミュニティに加入した学生がピア・サポート研修を受講し、ピア・サポート活動に必要な知識を身につけるとともに、活動中の学生も改めて日頃の活動について振り返ること。

また、ピア・コミュニティについての理解を深め、他コミュニティについて知り、ピア・コミュニティの学生同士の親睦を深めることで、よりコミュニケーションとりやすくすることを目的とする。

内容

- ・開会式
学生挨拶、全体概要説明
- ・アイスブレイク：NGワードゲーム
【ルール】
まず、5～6人のグループに分かれる。
参加者はそれぞれNGワードが書かれたカードを引き、自分のカードは見ないようにする。続いて、そのカードを自分からは見えず、他の参加者には見えるようにネクストラップにはさむ。
全員の準備ができればゲーム開始。制限時間は5分で3ゲーム実施する。
他の参加者にNGワードを言わせるような会話をする。参加者は相手の会話の運びを見て自分に何を言わせたいのかを予想しながら会話を続ける。
NGワードを言ってしまったら失格。最後まで残った人の勝利とする。
カード内容例：「好き」「海外」「夏」「趣味」など
- ・ピア・サポート研修「プランニング」
プランニングの概要、プランニングにおける注意点などを説明し、実践ワークを交えてピア・サポート活動に必要なスキルを学ぶ。
ワーク内容【ピア・コミュニティ夏合宿における交流会を企画し、プランニングしてみよう】
- ・昼食休憩
ご飯は各自持参し、グループに分かれて交流をする。
- ・交流会
グループは4～5人×6グループとし、20分でグループ替えを行い、2回実施する。
グループごとにお互いのことを知るための質問をしあいながら交流する。
→話題に困ったら話題カードを引く。
話題カード内容：
「将来の夢や気になる職業は？」
「何でピア・コミュニティに入ったのか」
「趣味を教えてください！」
- ・閉会式
学生挨拶、写真撮影、アンケート

効 果

- ・学年やコミュニティの違う人たちと交流することで、色々な考え方を共有することができた。また、個人としても新しい人間関係を築くこともできた。
- ・普段積極的に発言しない人でも、アイスブレイクや交流会のおかげで発言する機会も増え、たくさん話すことができた。

改 善 点

○事前準備

- ・役割分担をしたが、当日誰がやるべきか決まっていなかった役割があった。例えば、タイマー設定やスライド操作の担当を決めていなかったため、次回以降はそれらも役割分けに含める。

○アイスブレイク

- ・NGワードゲームで見本をした際に、それぞれのNGワードをあらかじめ言っておくべきだった。
- ・マイクは3本（ロールプレイングをする人数分）用意しておいた方が良かった。
- ・左横の人にカードをつけてあげるというルールに、最初困惑する姿が見られたので、それもロールプレイングで示すべきだった。

○交流会

- ・交流会のときの話題カード種類が少なかった。3つだけだったため、すぐに会話が終わってしまったので、次回以降は話題カードの種類を増やす。

感 想

アイスブレイクのNGワードゲームは、心理戦で作戦を練ってグループの人と話すのが初めのアイスブレイクとして適していると考え実施したが、アンケート結果からも多くの参加者が楽しんでくれたことがわかり、改めてNGワードゲームを実施して良かったと感じた。

ピア・サポート研修「プランニング」は、日常生活の中でプランニングの甘さで失敗することが多かったため、プランニングの基礎から学べる機会を得られて良かった。今回の研修で得た知識を今後の活動に活かし、余裕を持った企画・運営を意識していきたい。

交流会では、学年やコミュニティの違う人と趣味の話や将来の話ができて、とても新鮮で楽しかった。話題カードを用意していたことで話しやすかったという声もあり、工夫して準備して良かった。

コミュニティも学年も違う人と話したり、ゲームをしたりすることについて、初めは不安だったが、実際参加してみると多くの人と意見交換や会話ができてとても良い機会だった。今後もコミュニティ間の連携を促進するためのイベントを積極的に企画していきたい。

